

特集

Special
feature



いざー飛驒牛
日本一に向けて

進会(和牛フェス鹿児島2022)

本一に向けて お願いします -

開催(鹿児島県にて)



今年、全国の優秀な和牛を一堂に集めて、改良の成果や肉質・脂質などを競う大会「全国和牛能力共進会」が鹿児島県において開催されます。この大会で飛驒牛は、過去2回、日本一を獲得しています。畜産農家は、今大会での日本一を目指して準備を進めています。今回の特集では、大会に向けた畜産農家の取り組みや出場者の紹介、飛驒牛日本一に向けた応援方法などを紹介します。

どんな大会？

昭和41年から始まった「全国和牛能力共進会」は、全国の優秀な和牛を一堂に集めて、5年に1度開催される「和牛の祭典」です。この大会で牛の姿・形や肉質などを競います。全国の和牛関係者にとっては、この大会で優秀な成績を収めることは、和牛ブランド力の向上につながることから、最も重要な大会とされています。今回は、41道府県から459頭が出品されます。

審査部門

3部門に分かれて審査します

種牛の部

種牛(雄牛・雌牛)の姿形の体型の良さなど、改良の成果を審査

肉牛の部

肉質や脂質を審査

高校・農業大学の部

「種牛の部」の審査と同様の審査に加えて、出品校の取り組み内容を審査



11:00



牛舎掃除(過ごしやすい環境を整えます)

9:00



歩行・立ち練習(大会に向けて練習を積み重ねています)

6:30



餌やり(牛は毎日朝晩の2回食べます)

畜産農家の一日

大会出場者の
中谷久治さん
の一日を紹介します



削蹄

牛の体を支える蹄が整っていないと、美しく立つことができず、場合によっては怪我につながる可能性があります。そのため、蹄を削るメンテナンスは重要です。



立ち方訓練

審査は、立ち姿勢の状態を受けるために、足4本を綺麗にそろえて立つことは重要です。



大会に向けた準備

最高の状態で審査を受けられるように次の訓練などが行われています。